

徳川美術館 名品コレクション展示室

令和3年 6月22日(火)~9月20日(月・祝)

【第1展示室】

展示期間 A:6月22日(火)~7月20日(火) B:7月21日(水)~8月24日(火) C:8月25日(水)~9月20日(月・祝)

凡例: ⊙は国宝、◎は重要文化財

武家のシンボル - 武具・刀剣 -

大名はいうまでもなく武士であり、その集団の長であったため、泰平の世の江戸時代にあっても常に軍備を怠ってはならなかった。大名家の武器武具は単なる戦闘実用品ではなく、同時に「武士の心根」を表わすように美しく気品に満ちていることが必要だった。中でも刀剣は「武士の魂」といわれる通り、武士の精神の象徴として大切にされ、最も高い格式を持ち、公式の贈答品の筆頭ともされた。大名の甲冑は、一軍の大将の着用品である。武威と気品に満ち、贅を尽くし技術の粋を集めてはた目にも美しく見えるように作られた。

No.	名 称	作者・所用者・所蔵者など	時代	世紀	期間
1	朱塗啄木糸威具足	春田吉次·加藤彦十郎作 徳川義直(尾張家初代)所用	江戸	寛永3年<1626>	
2	葵紋蒔絵糸巻太刀拵	福井松平家伝来	江戸	18	Α
3	梨子地糸巻太刀拵		江戸	宝暦11年<1761>	ВС
4	網代軍配団扇	徳川義直(尾張家初代)所用	江戸	17	АВ
5	白熊毛采配 黒塗柄	徳川義直(尾張家初代)所用	江戸	17	С
6	三団子形馬標(関ヶ原合戦時使用)	松平忠吉(家康4男)·徳川義直(尾張家初代)所用	桃山	16	
7	青貝柄槍拵 黒塗銅鍔付鞘付		江戸	18-19	
8	白銀造葵紋蒔絵太刀拵	梁川(大久保)松平家伝来 徳川慶勝(尾張家14代)所用	江戸	18	АВ
9	葵紋散螺鈿黄金造太刀拵	浅野長晟(浅野家3代)·徳川義直(尾張家初代)所用	江戸	17	С
10	蠟色塗刀拵	徳川義宜(尾張家16代)所用	江戸	元治2年<1865>	Α
11	蠟色塗脇差拵	徳川義宜(尾張家16代)所用	江戸	元治元年<1864>	Α
12	蠟色塗刀拵	徳川家慶(12代将軍)・徳川斉荘(尾張家12代)所用	江戸	19	ВС
13	蠟色塗脇指拵	徳川家慶(12代将軍)・徳川斉荘(尾張家12代)所用	江戸	19	ВС
14 (太刀 銘 正恒	徳川吉宗(8代将軍)·徳川宗睦(尾張家9代)所持	平安	12	
15 《	□ 刀 銘 本作長義···(以下58字略)	北条氏直·長尾顕長·徳川綱誠(尾張家3代)所持	南北朝	14	
16			江戸	寛文5年<1665>	A
17	小脇指 銘 来光重 応安元年三月日		南北朝	応安元年<1368>	ВС
	短刀 銘 相州住正宗 嘉暦三年八月日	初代越前康継再刃(大坂焼物)		嘉暦3年<1328>	
18	名物 大坂長銘正宗	豊臣秀頼·徳川家康所持 駿府御分物	鎌倉		
20	蠟色塗刀拵	徳川義宜(尾張家16代)所用	江戸	安政5年<1858>	
21		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	江戸	17	
22	獅子図三所物 銘 紋祐乗(後藤家初代) 光美(同15代)(花押)		室町	15	
23	糸巻図二所物 銘 延乗(後藤家13代)(花押)		江戸	18	
24	沢瀉川鳥図笄 無銘 光乗(後藤家4代)		桃山	16	
25	波に藻図赤銅鐔		江戸	17	
26	格子透鉄鐔 銘 鍛政常彫友清 大小二枚		江戸	19	
27			江戸	17	
28	本阿弥光常折紙 延宝五年巳弥生三日	(No.15 刀 銘 本作長義・・・(以下58字略)附属)	江戸	延宝5年<1677>	Α
29	後藤光守折紙 天明六年卯月七日(No.23 糸巻図二所物 附属)		江戸	天明6年<1786>	ВС
30	中将様御道具御腰物御脇指帳 慶安五年辰八月日		江戸	17-18	Α
31	御小道具元帳 江ノ部 二冊の内		江戸	19	ВС
32		徳川宗睦(尾張家9代)所用	江戸	18	
33	鏃(矢の根) 七十四本の内	徳川宗睦(尾張家9代)所用	江戸	18	
34	 征矢 三十九点の内		江戸	18	
35	秋草蒔絵矢筒	,	 江戸	17	ВС
36	火縄銃 三匁五分筒 銘 渡辺佐次右衛門城		 江戸	17	
37	火縄銃 三匁五分筒 銘 以南蛮大筒鉄重張戊申寛文八年冬十一月日芝辻(花押)		 江戸	17	
38	火縄銃三匁五分馬上筒 銘 国友勝左衛門作		 江戸	17-18	A
39	唐銅五十目短筒		 江戸	18	
40	唐銅瓢形口薬入		 江戸	18-19	Α
41	ー ・		 江戸	18-19	A
42	関ケ原合戦図屏風の曲に双の内		 江戸	19	ВС